

政策名	5安全な港		責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課
基本施策名	07危機管理機能の強化				
個別施策名	21防災対策を強化する		連絡先	052-654-7813	
事務事業名	12防災対策におけるシステムの管理運営				

1 PLAN(目的・概要)

目的	各システムを適切に管理し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。	事業期間	平成21年度～継続
概要	港湾用防災無線局、防災気象・潮位予測情報システム(MICOS)及び緊急地震速報システムを適切に管理し、防災対策及び防災活動に活用します。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合防災計画
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】		港湾用防災無線局 年間保守点検、通信テスト(月1回) MICOS 年間保守点検、防災対策本部での活用 緊急地震速報システム 年間保守点検、訓練での使用 [22年度の実施内容、新庁舎へのシステム移設]							
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
保守点検	単位	目標			3	3	3	3	各システムにおける年間保守点検の実施
	システム	実績			3	3			
訓練、防災対策等での活用	単位	目標			15	14	14	14	防災無線通信テスト12回(13回)[12回]+緊急地震訓練使用1回(1回)[1回]+MICOS防災対策本部活用1回(1回)[1回] ※H22目標数値、()内はH22実績、[]はH23目標の順で記載
	回	実績			17	15			
事業費	千円			11,942	15,980	12,276			港湾用防災無線局 302千円[2,081千円] MICOS 8,256千円[10,329千円] 緊急地震速報システム 3,384千円[3,570千円]
人員 正規職員	人			0.50	0.80	0.50			
	嘱託職員	人			0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円			4,291	6,785	4,384			
事業費・人件費の合計	千円			16,233	22,765	16,660			

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
障害の発生	単位	目標			0	0	0	0	訓練、防災対策等での活用時において、システムに障害が発生した回数
	回	実績			0	0			
	達成度○/×			○	○				
観点	単位	目標							現状の「見える化」
		実績							
	達成率(%)								
必要性	組合関与の必要性	有・無	有・無						※事務事業の目的(対象・意図)が類似しているため、次の事務事業をこの事務事業に整理統合しました。 5-07-21-13防災気象・潮位予測情報システムの管理運営 5-07-21-14緊急地震速報システムの管理運営
	目的・水準の妥当性	有・無	・本組合の災害時の情報収集及び発信といった防災対策及び防災活動において必要なシステムです。						
	利用者などの対象者ニーズ	有・無							
有効性	成果の達成度	有・無	有・無						
	内容の妥当性	有・無	・障害が発生しないよう各システムを適切に管理し、災害時の防災対策及び防災活動に活用します。						
効率性	実施主体の妥当性	有・無	有・無						
	受益者負担の適正性	有・無	有・無						
	経済性	有・無	有・無						

4 ACTION(取組)

参考(昨年度の評価)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	防災活動や災害時の情報収集・伝達を適切に行う必要があるため。
	維持	維持	

今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)

防災情報に関係するシステムを一本化して、全体構成を検討した後、設備更新を行います。